

ネットワークを利用した部署間の効果的な情報活用方法

A-6班

もくじ

2

- 背景
- 具体的事例①
- 解決案①
- 具体的事例②
- 解決案②
- 具体的事例③
- 解決案③
- まとめ
- 補足

背景

3

各部署で異なるシステムを利用しているため、部署間の情報共有ができないことがある。

→各大学の抱えている具体的な事例をとりあげ、ネットワークという観点から、解決案を探ってみた。

具体的事例①

4

各システム間でログインIDが異なる

例)教務系システムと総務系システムでIDが異なる
→個人でのID、パスワードの管理が大変

解決案①

5

- ・統合認証IDの利用
- ・異なるシステムを職員により連携させる

→一回のログインで、複数のシステムを横断的に利用できる。

→作業の利便性が向上する。

具体的事例②

6

システムの縦割り

例)教員と職員で利用できるシステムが異なり、教職員間で共有すべき情報を、すぐに利用できない
→入試にかかわる情報を共有できず、入試戦略がうまく立てられない。

解決案②

7

- ・教職員用ポータルサイトの開設、利用
 - アクセスする情報が最新
 - アクセス箇所が集約される
 - 管理が容易
- ・事務システムに、教員もアクセス可能にする
- ・職員にもウェブを開放する

具体的事例③

8

- 必要性の高い個人情報へのアクセス

例1) 人事情報が完全非公開になっており、状況に応じた個別の対応が必要になる

→ 特定の部局に問い合わせが殺到

問い合わせねば必要なデータが入手できない

例2) 財務システムの承認権限の付与にタイムラグがある

解決案③

9

例1)人事照会システムによる必要な項目の権
限付き公開

例2)人事情報との連携

夜間バッチを利用して財務システムに人事
データを反映させる

課題:個人情報との関係で公開レベルを定める
必要あり

まとめ

10

情報共有の障害の原因

- ・組織の縦割りによる、システムの連携不備
(=セクショナリズム)
- ・情報が分散してしまっている
- ・個人情報の公開の問題

⇒縦割り組織を情報で貫く — 利用することで
横につなげていく。

補足

11

